

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができている。
- 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。
- 文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題が見られる。

【算 数】

- 図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することができている。
- 必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができている。
- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題が見られる。

【理 科】

- 与えられた情報をもとに科学的に思考し、判断することができている。
- 科学的な思考力は高いものの、それを支える基本的な実験操作の知識や、実験条件をコントロールするという考え方に課題が見られる。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 「プレゼン作成ができる」と肯定的に捉え、ICT活用に対する前向きな姿勢が見られる。
- 友人関係に満足しており、生活の中で、幸福感を感じている児童が多い。
- 「算数の授業内容がよく分かる」「算数を生活に活かしている」など、算数に対する理解と実生活への応用力が高い児童が多い。
- 就寝時間や朝ごはん等の基本的生活習慣に課題が見られる。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・「書く活動」：子供達が意見を交流するときに、自分の考えをより深めることができるようにするための学習指導の推進。
- ・国語、算数、理科で定着が不十分だった内容の重点指導。
- ・ICTの効果的な活用：子供一人一人の考えを把握し、個別の指導に生かす。

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・子供に問いを持たせる導入の工夫を行う。
- ・全校で授業改善を推進する。(具体物进行操作する活動を取り入れる。ICTをより効果的に活用する。子供が主体的に取り組む機会を増やす指導)
- ・体験に基づいた自分の考えを説明するなど、アウトプットに重点を置いた学習指導を行う。

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・スライドを用いた学習発表に向けた表現活動の取組
- ・学習内容の剥離を防ぐ家庭学習プリントの実施
- ・あいさつ運動等、全校をあげての取組の推進

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・いいところ見つけの取組など教師や子供同士が頑張りを認める・褒めることを意識して行う。
- ・学習したことが生活場面で活用できるような課題設定を行う。